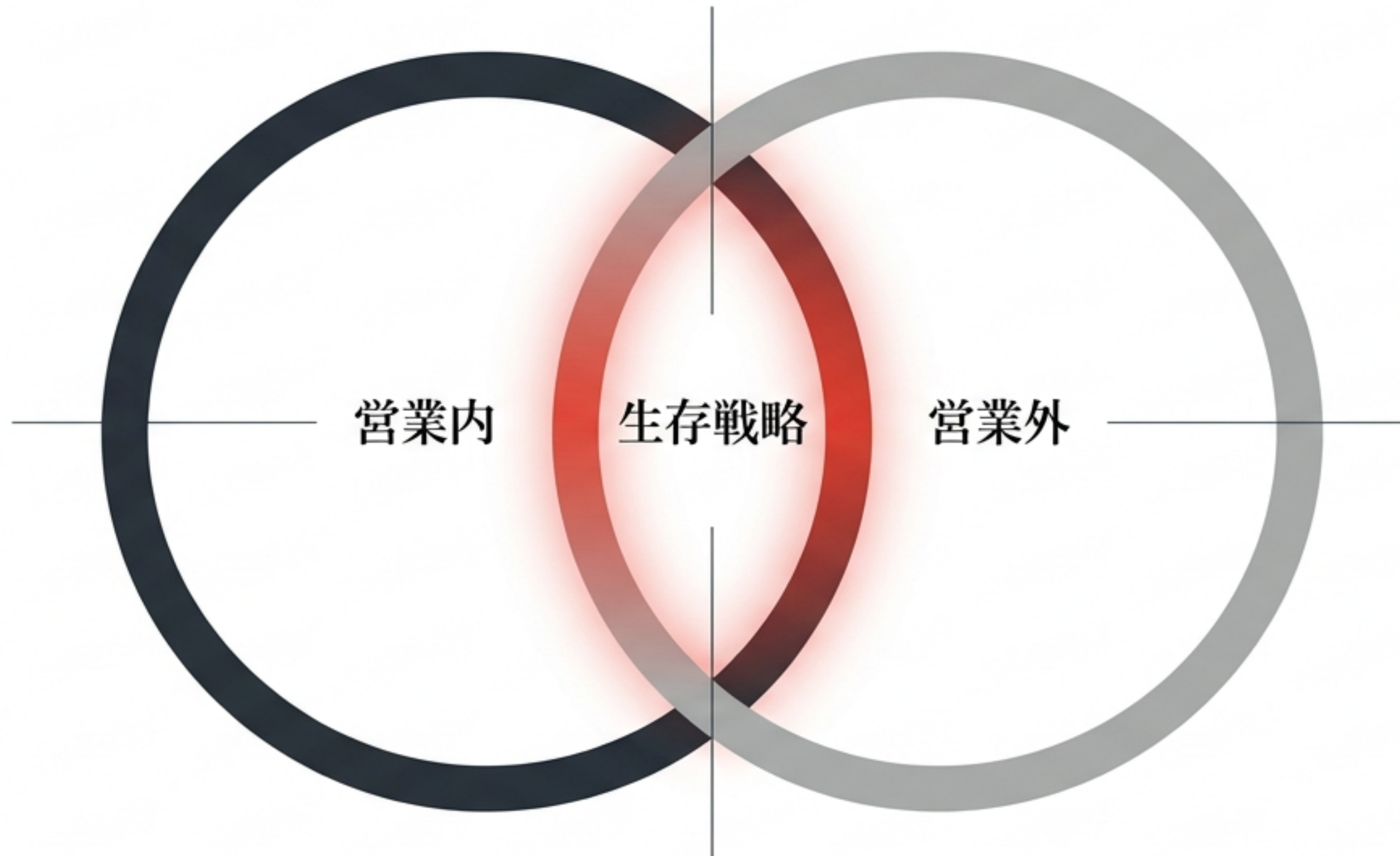


営業内と営業外 二輪で進む生存戦略

どこで生き残りが分かれるのか。何で稼いでいるかではない。どう回しているかである。



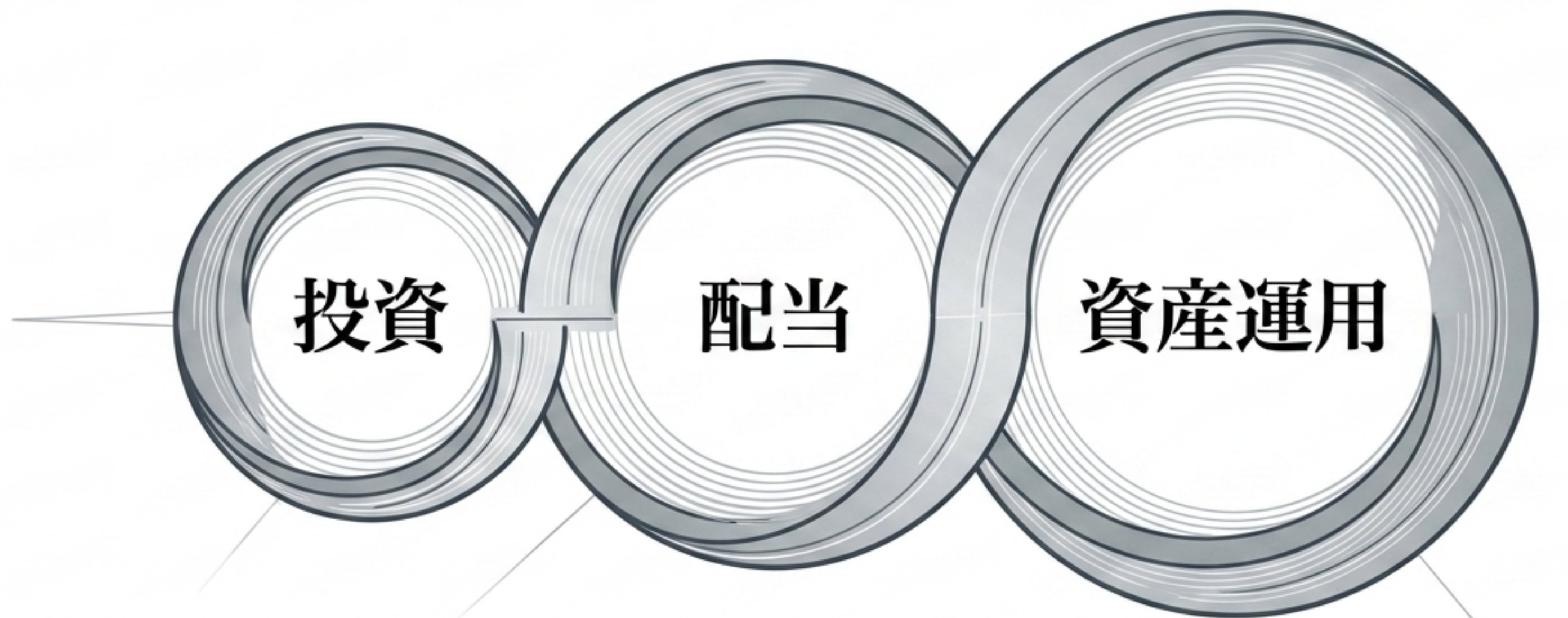
生命力モデル

- ・自ら価値を生み出し、対価を得る力
- ・最も純度の高い収益
- ・自分の足で立ち、自分の呼吸で生きる

収益

顧客価値

価値創造



拡張力モデル

自分の手を直接動かさなくても、資本や仕組みが働く
他者に任せる、市場に委ねる、時間を味方につける
自分以外の力を借りる技術

営業だけの世界



時間依存型収益モデル

- 働けば収入になる
- 働かなければ収入は止まる
- 自分の時間に依存する構造

営業だけの限界

時間・体力・年齢

- 時間は増えない
- 体力は落ちる、集中力も落ちる
- 一人で生み出せる価値には限界(天井)が存在する

体力・集中力

制約の壁 / 天井

年齢

働く



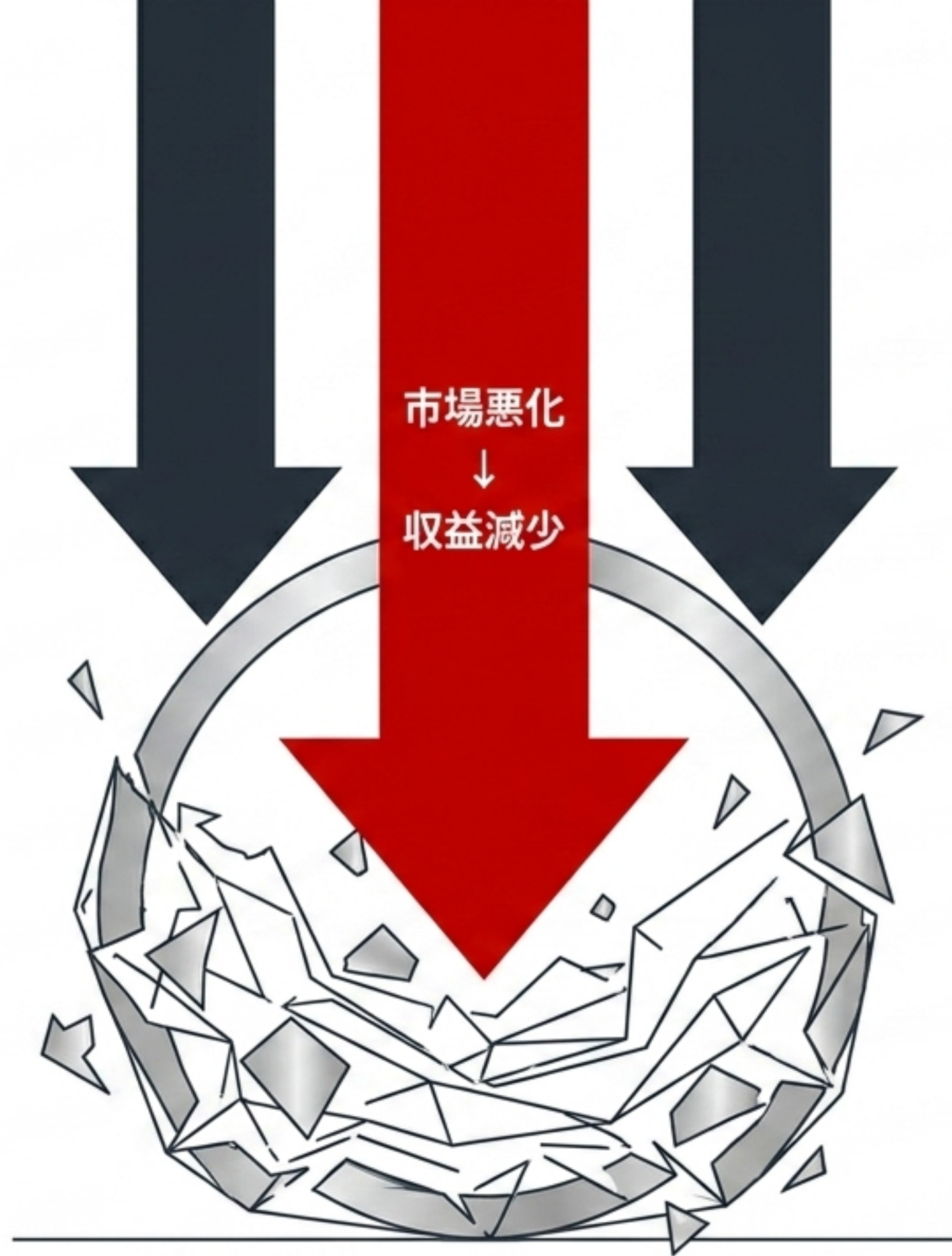
収益



市場依存型収益モデル

投資だけの世界

- ・ 自分の軸がない状態での投資
- ・ 他力への完全な依存
- ・ 価値創造の代替にはならない



投資だけの危険 価値創造力喪失

- ・自ら稼ぐ力がなければ何も残らない（空洞化）
- ・自ら稼ぐ力がなければ何も残らない（空洞化）
- ・これは投資ではない。依存である。運任せである。

TAOISMで見る営業と投資

営業 = 陽

- ・創る
- ・動く
- ・切り開く

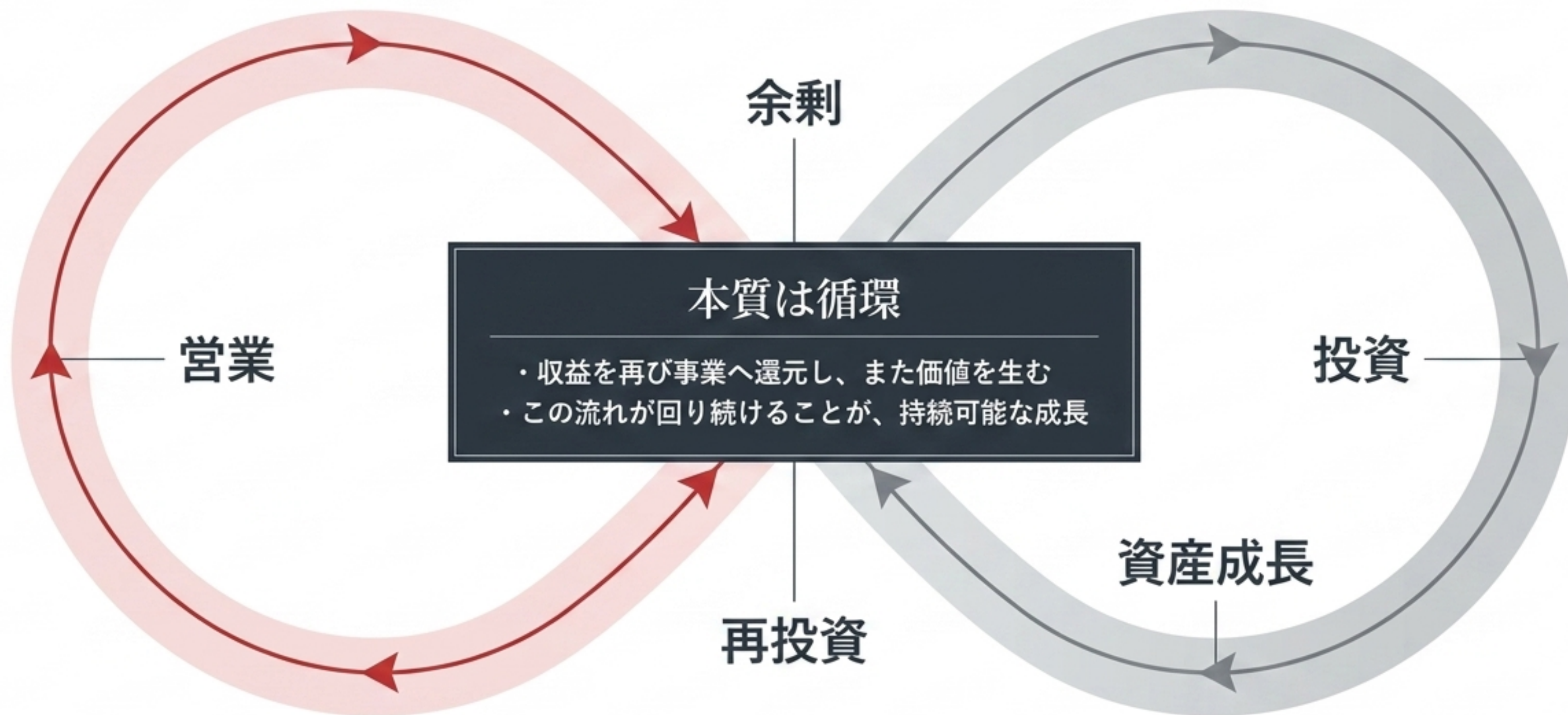


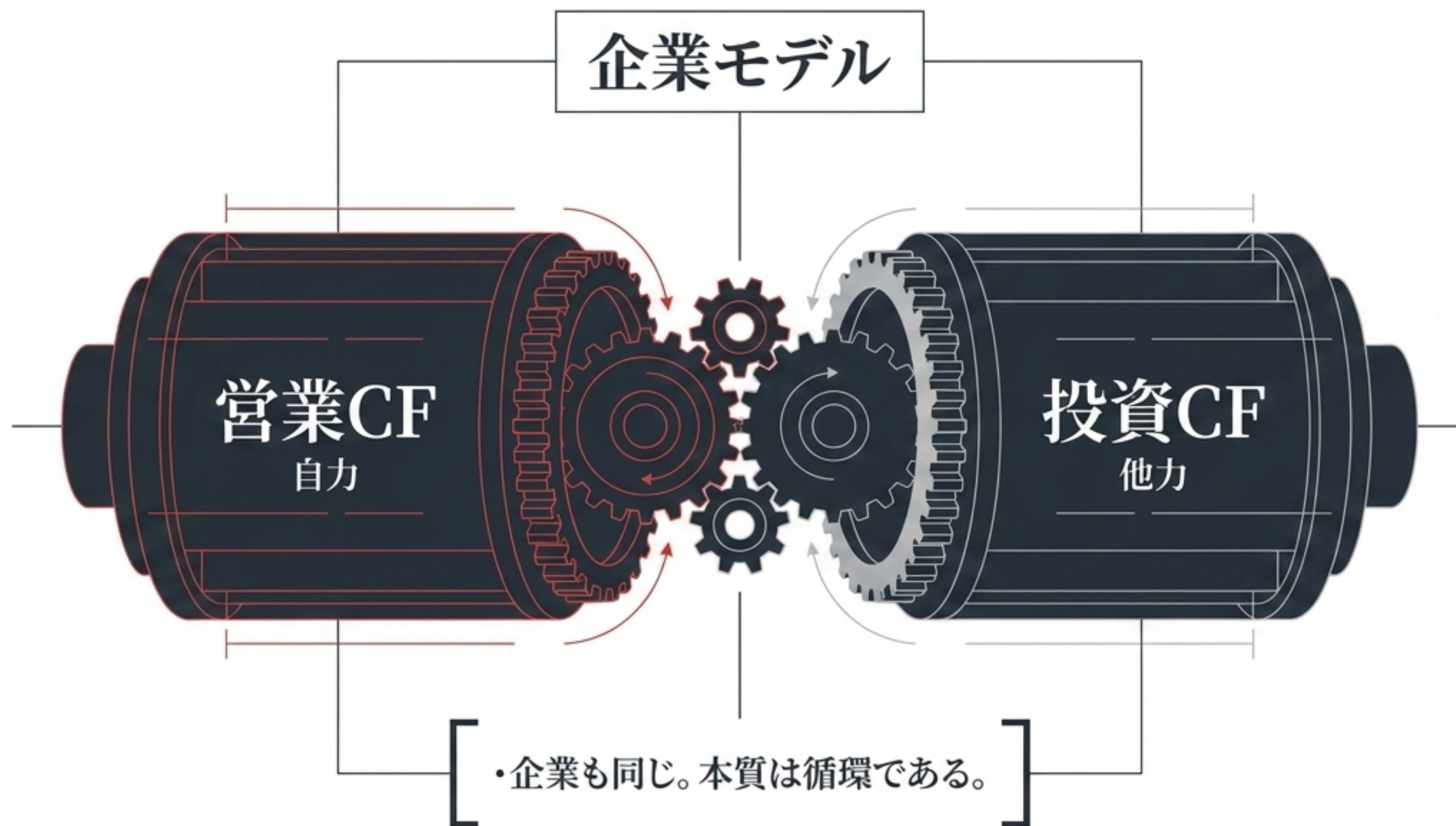
投資 = 陰

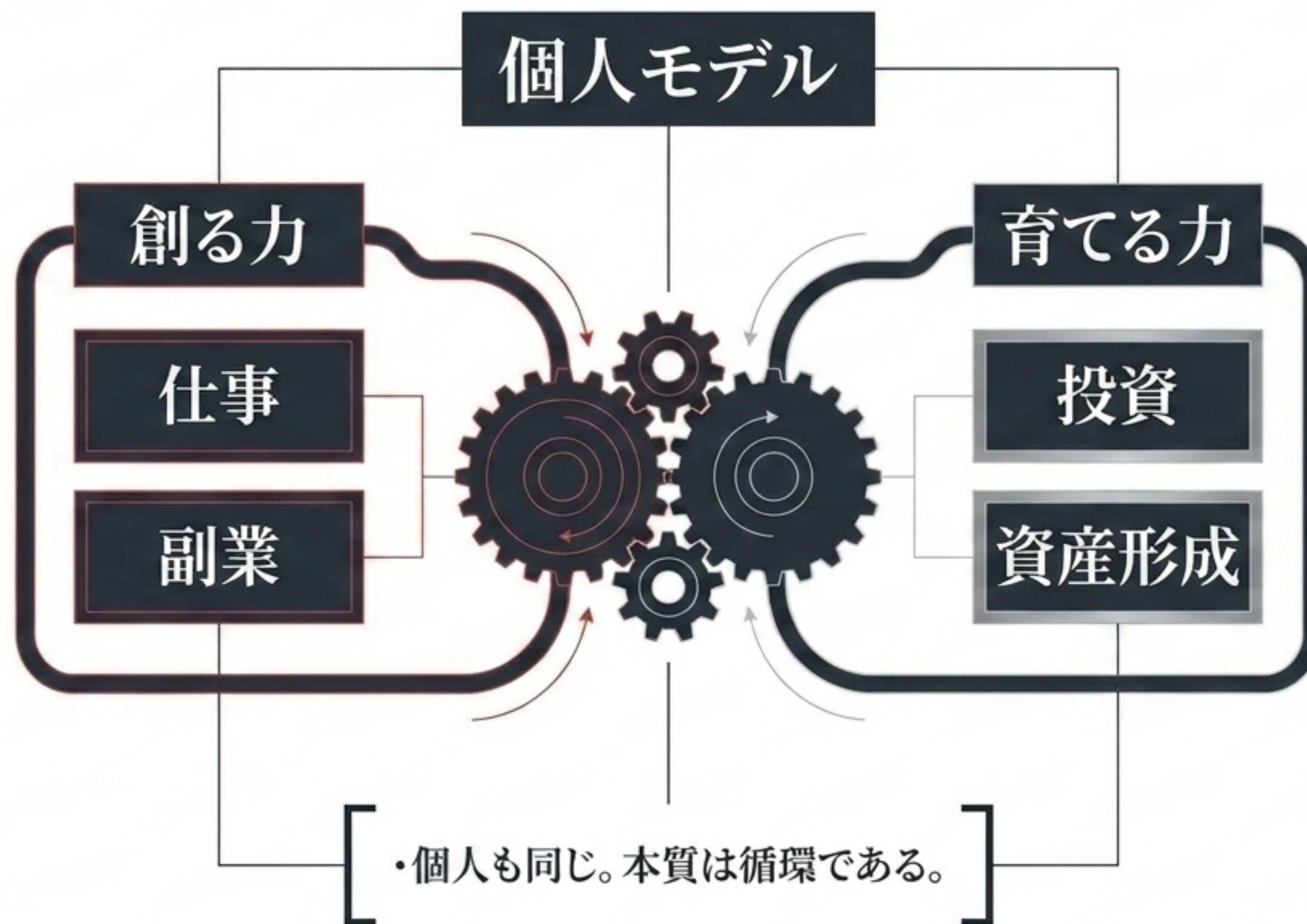
- ・育てる
- ・待つ
- ・委ねる

陽だけでは燃え尽きる。陰だけでは停滞する。
陰陽が回るから、エネルギーは持続する。

循環モデル







自力と他力



自力のみ

小さく固まる（天井）



他力のみ

脆く崩れる（空洞化）



統合型

大きな流れが生まれる
（強固な循環）

自力だけでは小さい。他力だけでは脆い。
自力と他力が合わさった時、初めて大きな流れが生まれる。

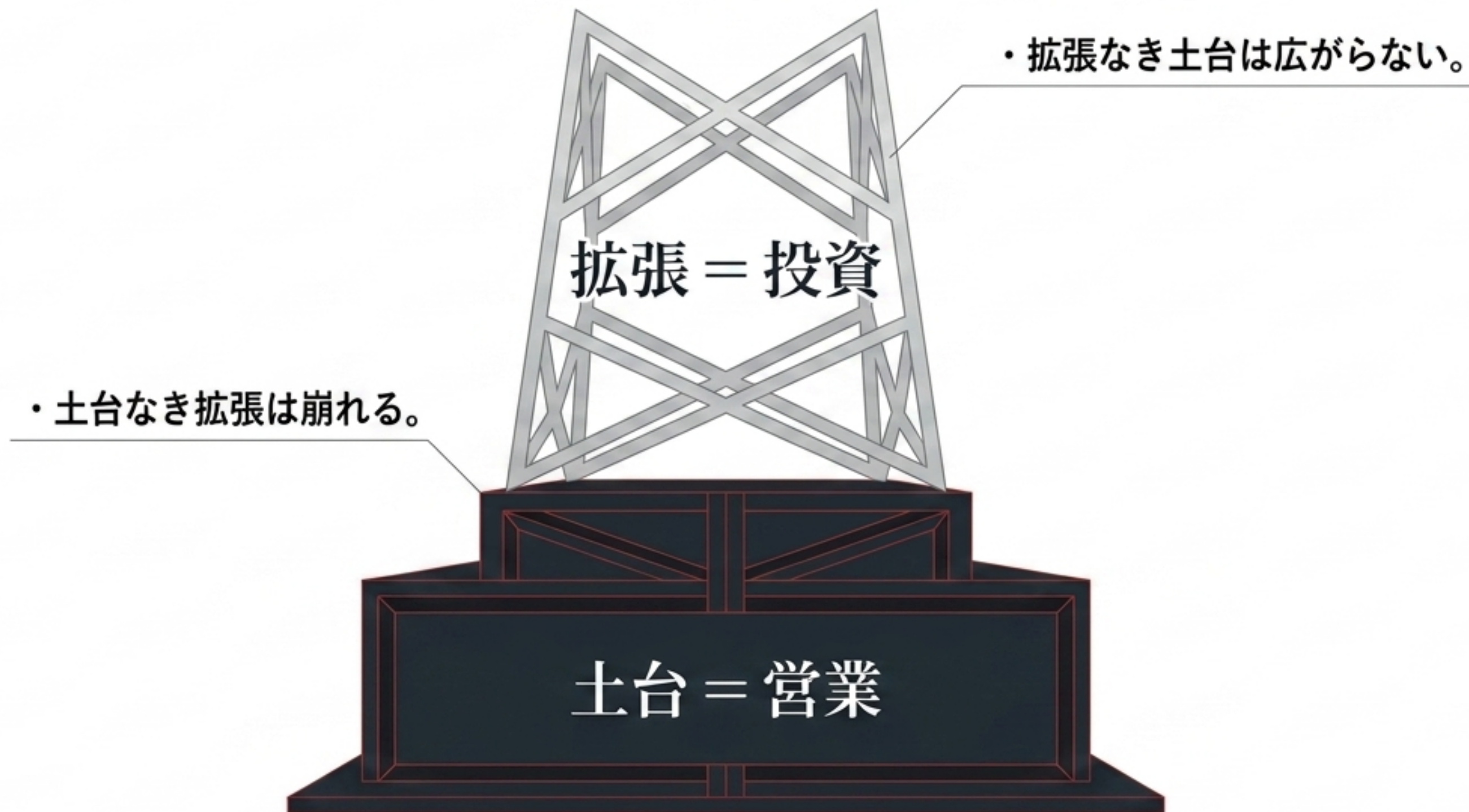
責任の所在



- 自分でやるにしても、他者に任せるにしても、責任は自分にある
- 委ねるという行為にも責任が伴う
- 責任なき自由は存在しない

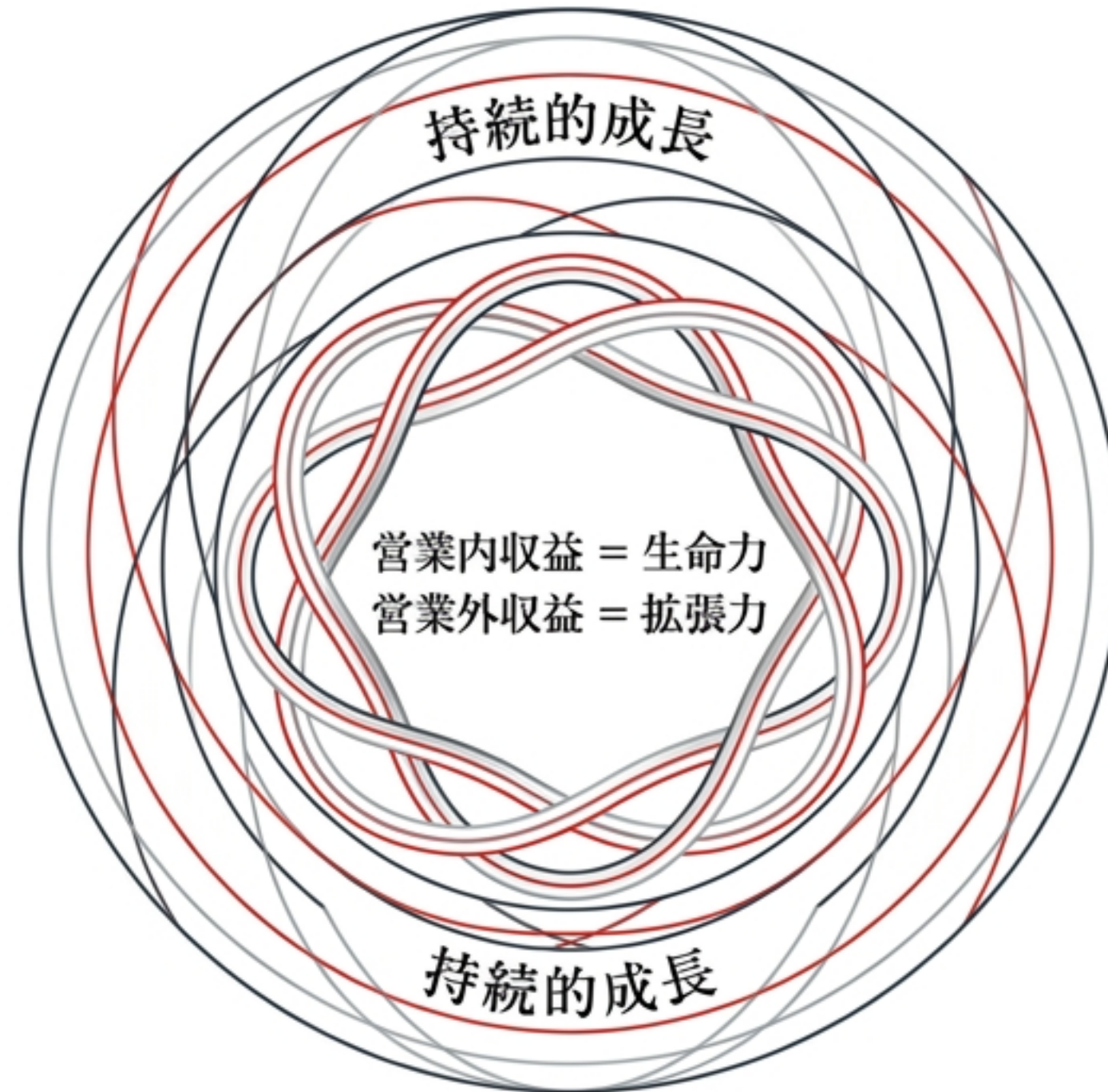
自己責任

T A O I S M 的 結 論



・両輪で進む。片輪では遠くへ行けない。

まとめ



本質は循環。

どちらかを選ぶのではなく、どちらも使いこなすこと。
両輪で進むことが、持続的成長を生む。